

【小澤謙太先生抄録】

「3Dプリンターを活用した義歯製作の実際」 ～部分床義歯メタルフレーム製作の効率化を中心に～

近年、歯科医療においてデジタル化が急速に進んでいる。CAD/CAM冠に代表される加工機によるミリング加工や、IOSデータなどから積層造形によって作られる模型や維持装置など、今までのアナログ技工には無いテクニックや知識が必要とされるようになってきた。メタルの高騰により保険診療においてもメタルに変わる材料が推奨されるようになってきており CAD/CAM冠や、ジルコニアなど加工機を使った技工業務は日常当たり前のようになった。しかし3Dプリンターの活用においては、まだ歯科技工の一部分にしか活用されていない様に思う。今回、弊社が3Dプリンターの活用によって劇的に変わった作業時間の短縮と、維持装置の製作過程を中心にお話ししたいと思う。また、3Dプリンターの活用によって実際に行っている臨床への応用も踏まえて紹介していこうと思う。

今回のセミナーでは3Dプリンターを活用した義歯製作の実際をレクチャーさせて頂き、部分床義歯メタルフレーム製作の効率化を中心にデモと実習を進めていく予定である。また総義歯のデザインデモも予定している。